

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立第一中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習 の時間	松江自主研修 「松江の魅力見つけ隊」	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDGs de 地方創生」公認ファシリテーター ・マナー講師 (ミュージッククリエイト) ・松江市内の教育資源(観光地、体験等)
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・松江(地域)の魅力について調べることを通して、松江(地域)の魅力を再発見・再認識し、発信する。 ・グループ活動を通して、自分たちで考え行動する力(リーダーシップとフォロワーシップ)を身につける。 ・松江市におけるSDGsの取組を見つける。 	
<p>1 取組の概要</p> <p>①ガイダンス (観光DVD鑑賞、SDGsについて) ②松江の魅力〈ヒト・モノ・コト〉についての調べ学習 ③班ごとに自主研修のテーマ決め、行程表作成 ④SDGs出前講座、マナー講座 ⑤自主研修実施 ⑥成果発表会 (クラスで交流)</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・自分たちが住んでいる地区は都会と比較し「何もない」という考えから、「魅力に気づける力を醸成」するため、まずは自分たちの住む松江市のSDGsの取り組みについての講話を聴いたり、松江の魅力について調べたりする時間を設定した。 (学力育成の視点から) ・学校にはできない体験 (講師の話を聴く、観光地の訪問及び体験など) をしたり、自分が見つけた魅力をパワーポイントにまとめ、発表したりすることで、見通し力・段取り力や思考力といった学力向上につながる力を育成したいという意図をもっていた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・もっと魅力を知りたくなってきたり、魅力を伝えたくなくなったりしている生徒が増えた。また、今年度の市学力調査のアンケート項目「地域や社会をよくするために何かしたいと思うか」では、肯定的な回答が76.4%で松江市の平均よりも高くなっていた。 (学力育成の視点から) ・個人や班で作成したまとめを発表したり、友達の発表を聴いたりすることで、話す力や聴く力の向上につながった。また、事前に2年生から修学旅行のまとめの発表を聴いたことが良い例となり、自分の発表に取り入れようとしていた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域(特に中学校区)の魅力に気づいたり、見つけたりすることができるような活動を取り入れていく。 ・中学生の取組を地域の方に還元していきたい。(発表会や地区の活動への参加など) ・地域課題の解決やSDGsの目標達成の活動にも進んでかかわってほしいとする生徒を育成していきたい。 			



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)